

普及活動情勢報告（令和7年12月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ニラ産地からお届け！ ～東京調理製菓専門学校オンライン出前授業～



現地から中継する
普及指導員

11月17日、香美市のニラハウスと東京調理製菓専門学校をリモートで繋いだオンライン出前授業が開催され、学生19名が参加しました。

農業改良普及課は、事前打ち合わせ等の準備や現地からの中継を支援しました。授業では、生産者が自身のお場の様子や栽培に使用する道具を見せながら、産地の紹介やニラの特徴などを紹介しました。

学生からは「ニラは何回収穫できるのか？」「生産者さんおすすめのニラレシピは？」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も高知県産ニラが消費者に選ばれるように支援を行っていきます。

植物生理の基礎を学びました！！ ～データ駆動型農業勉強会～



勉強会の様子

11月25日、農業改良普及課がデータ駆動型農業勉強会を開催し、管内のJA営農指導員と農業普及課職員の21名が参加しました。

農業改良普及課は、光や温度等の環境要因に対する植物の反応、果実の肥大や障害果の発生要因等を中心に植物生理の基礎について説明を行いました。

参加者からは「光飽和点が低い作物は遮光を開始する時期が早くなるのか？」等の質問が出されました。また、「近年問題となっている高温対策の勉強会をして欲しい。」などの意見も出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して農家の収量・品質の向上に向けて取り組んでいきます。

オクラで稼ごう！ ～香美地区園芸部オクラ栽培講習会～



栽培管理について説明する
普及指導員

12月4日、香美市でJA香美地区園芸部オクラ部会がオクラ栽培講習会を開催し、34名が参加しました。

JAは、令和7園芸年度の振り返り等について説明し、農業改良普及課は、は種準備から換気時期までの管理のポイントを説明しました。

生産者からは「葉焼けさせないように温湿度の把握をしたい」といった声があり、データに基づく管理に関心が高まりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してオクラの収量の向上に向けて取り組んでいきます。

高知県の野菜・果物をいっぱい食べよう！！
～青年農業士中央東ブロック協議会産地PR活動～



シシトウの収穫方法を
ライブ配信

12月6日、青年農業士中央東ブロック協議会員3名が大
阪中央青果（株）と協力して、親子連れなど14組を対象に
「オンラインほ場見学ツアー」を開催し、高知県の農産物を
PRしました。

農業改良普及課は、ほ場の選定、進行表の作成、当日のラ
イブ配信を支援しました。青年農業士は自身のシシトウほ
場、当振興センター会場から、栽培上のこだわり、収穫方法
等を紹介しました。

参加者からは「シシトウのおいしい食べ方は何ですか」「メ
ロンの海外の出荷先はどこですか」などの質問があり、高知
県の農産物をPRする良い機会となりました。

農業改良普及課は、今後も青年農業士の活動を支援し、地
域のリーダーとなる担い手育成に取り組みます。

地域食材を活かした料理を作ってみよう ～皿鉢料理講習会 in 後免野田小学校～



巻きすの使い方を
小学生に伝授

12月8日、南国地区農漁村女性グループ研究会が講師とな
って皿鉢料理講習会を開催し、後免野田小学校の児童32名が
参加しました。

同小学校では6年生の食育授業として、地産地消を推進す
る同研究会と連携し、地域食材を活かした「皿鉢料理講習会」
を毎年開催しています。農業改良普及課は、日程や材料の調
整、来年度に向けた教員への改善点聞き取りを行いました。

生徒からは「初めて巻きすを使った」等たくさんの感想が
あり、貴重な経験になったことがうかがえました。

農業改良普及課は、引き続き同研究会の活動が円滑に進む
ようサポートします。

産地の将来を考えて、ビジョンを策定！ ～南国シシトウ合同役員会～



会の様子

12月11日、JA土長営農経済センターでシシトウ合同役
員会が開催され、生産者及びJA職員ら13名が参加しまし
た。

会では、R6年度から検討してきた産地ビジョンの内容確
認と11月の県域ししとう部会の情報共有を行いました。農
業改良普及課は、ビジョン作成に向けたデータ整理や課題、
取組内容の取りまとめを行いました。

各部長は内容に合意し、担い手確保や規模拡大のため包装
形態の変更を最優先で取り組むとともに、各部会でビジョン
を共有することになりました。

農業改良普及課は、産地ビジョンの実践に向けて、関係機
関と連携し産地課題の解決に取り組みます。